

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
法人本部

平成28年度 社会福祉法人交楽会 事業報告

平成28年度において、社会福祉法人交楽会が実施した事業について、下記のとおり報告します。

(1) 運営事業

1. 第1種社会福祉事業
 - (1) 障害者支援施設 森幸園
 - (2) 特別養護老人ホーム 森泉荘
2. 第2種社会福祉事業
 - (1) 介護老人保健施設 もりよし荘
 - (2) 森泉荘老人短期入所施設
 - (3) もりよし荘在宅介護支援センター
 - (4) 認知症対応型老人共同生活援助事業（もりの家・もりの郷）
 - (5) 老人デイサービス事業（もりの郷）
 - (6) 障害者福祉サービス事業（もりの郷）
 - (7) 相談支援事業
3. 公益を目的とする事業
 - (1) 居宅介護支援事業
 - (2) 居宅介護予防支援事業

(2) 役員会開催状況

理事会を5回、評議員会を3回、役員協議会を2回開催し、それぞれの議案について審議しました。

特に、社会福祉法人制度改革の施行に向けた法人としての対応を進めました。定款の全部変更による法人の経営組織の見直し。定款に基づき評議員選任・解任委員会運営細則を制定するとともに委員を選任し、新評議員を決定しています。

(3) 役員研修及び職員研修

10月18日(火)～19日(水)「北海道・東北ブロックセミナー」(秋田市)に役員7名・職員6名参加し、社会福祉法改正への対応について研修しています。本部主催の職員研修会として9月15日(木)に新役付職員研修(参加者4名)、9月27日(火)に年金等説明会(参加者7名)、1月30日(月)に評定者研修(40名参加)、3月23日(木)に新任職員研修(参加者14名)を実施。また、各施設の事務担当による打合せ会を4月、8月、12月に実施し、情報の共有化を図りました。

(4) 人事異動・採用・退職

- ① 28年度は、4月1日付でもりよし荘に3名、森幸園に1名、森泉荘に1名、もりの郷に1名と6名の人事異動を実施、正職員には12名採用しています。また、年度中に正職員11名が退職(うち定年3名～29年度再雇用1名)しました。
- ② 新卒者等の正職員採用試験を実施。介護職員2名を合格とし、平成29年4月1日から採用しています。

(5) 監事監査及び外部監査の実施

27年度運営状況等について、5月18日(水)～19日(木)に各施設と本部の法人監事監査を実施。外部の監査として、7月12日(火)と8月17日(水)にもりよし荘、7月13日(水)と8月19日(金)にもりの郷が、北林会計事務所による監査指導を受けています。

(6) ストレスチェックの実施

職場におけるメンタルヘルス対策として、職員のストレスチェックが義務付けられたことから、5月にストレスチェック制度実施規程を制定。秋田県総合保健事業団に実施を委託し、全職員について10月～11月に実施しています。

(7) 今後の課題

- ①社会福祉法人改正に対応した経営組織とガバナンスの強化
- ②交楽会全体の職員配置、人件費適正化の検討及び人材確保、人材育成
- ③地域住民のニーズに対応した事業計画の検討
- ④計画的な積立金の確保

○理事会開催状況

	日 時	出席状況
第1回	5月27日(金) 15:00	理事7名、書面出席1名、監事2名
第2回	9月23日(金) 10:00	理事6名、書面出席2名、監事2名
第3回	12月14日(水) 15:00	理事8名、監事1名、欠席監事1名
第4回	3月14日(火) 10:00	理事7名、書面出席1名、監事2名
第5回	3月27日(月) 14:00	理事7名、書面出席1名、監事2名

○評議員会開催状況

	日 時	出席状況
第1回	5月27日(金) 10:00	13名出席、4名欠席
第2回	12月14日(水) 10:00	13名出席、4名欠席
第3回	3月27日(月) 10:00	14名出席、3名欠席

○役員協議会

回数	日 時
第1回	12月7日(水) 14:00~16:30
第2回	2月24日(金) 14:00~16:30

○合同会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	4月28日(木)	第5回	8月30日(火)	第9回	12月22日(木)
第2回	5月23日(月)	第6回	9月29日(木)	第10回	1月26日(木)
第3回	6月27日(月)	第7回	10月26日(水)	第11回	2月21日(火)
第4回	7月25日(月)	第8回	11月24日(木)	第12回	3月24日(金)

○施設長会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	5月23日(月)	第6回	10月26日(水)	第11回	2月13日(月)
第2回	6月27日(月)	第7回	11月24日(木)	第12回	2月15日(水)
第3回	7月25日(月)	第8回	12月22日(木)	第13回	2月17日(金)
第4回	8月30日(火)	第9回	1月26日(木)	第14回	2月21日(火)
第5回	9月29日(木)	第10回	2月 7日(火)		

○評価作業部会

	月 日	参加人数	講 師
第6回評定者研修	1月30日(火)	41名	㈱セミナー東北顧問 中尾経営事務所 所長 中尾 雅樹 氏

○役員研修会

	月日	研修名	主 催	開催地	内 容	参加者
1	5月 26日	認知症対応型サービス事業開設者研修	秋田県社会福祉協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス指定基準等について ・介護従事者の労務管理 ・認知症高齢者の基本的理解、ケアのあり方、家族の理解・高齢者との関係の理解 ・地域密着型サービスの取組みの実際について ・施設実習に関するのリエンテション 	(理事長) 成田陸雄
2	6月 8日	認知症対応型サービス事業開設者研修実習	秋田県社会福祉法人経営者協議会	なでしこ(鷹巣)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習及び報告書 	(理事長) 成田陸雄
3	6月 10日	秋田県社会福祉法人経営者協議会総会	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 事業報告、決算 ・会則等改正 ・H28 事業計画、予算 ・役員改選 ・講演 	(理事長) 成田陸雄
4	8月 31日	社会福祉法人制度改革対応セミナーⅠ	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「各法人における社会福祉法改正への対応～施行に向けた準備」 ・事業説明「改正法施行に向けた会員法人支援ツールについて」 	(理事長) 成田陸雄 (監事) 庄司佳徳 柏木事務長
5	10月 18日～ 19日	北海道・東北ブロックセミナー	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法改正への対応と全国経営協の取り組み」 ・「どうなる日本」 ・「社会福祉法制度改革への経営対応～地域公益の債務、財務規律の強化を中心に～」 	(役員) 成田陸雄 加賀隆久 春日正一 奥山亮修 高杉義博 庄司佳徳 石崎國人 (職員) 柏木正人 佐藤祥彦 土濃家廣孝 滝澤葉子 石川眞利子 田村風花
6	11月 21日	社会福祉法人制度改革対応セミナーⅡ	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「改正法を活かした社会福祉法人の経営」 ・「改正法施行に向けたチェックポイント」 	成田理事長 柏木事務長 石川眞利子
7	1月 23日	高齢者施設経営委員会情報交換会	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換「秋田県健康福祉部長寿社会課」 ・会員による意見交換 	成田理事長 柏木事務長

8	1月 25日	秋田県社会 福祉法人経 営者協議会 県北会総 会・講演会	秋田県社 会福祉法 人経営者 協議会県 北会	大館市	・総会 ・講演会「働き方・休み方改善に向けた 労働時間等のルールの定着」	成田理事長 柏木事務長
---	-----------	--	------------------------------------	-----	--	----------------

○新役付職員等評定者研修

日 時	内 容	対 象 者
9月15日(木) 15:30~16:30	・新役付職員に交楽会人事考課実施要綱の基本的な内容 の説明	金澤 満 若松 さゆり 佐藤 加奈子 岸野 優子

○年金等説明会

日 時	内 容	参 加 者
9月27日(火) 14:00~16:00	・年金、社保手続き等(講師 鷹巣年金事務所)	庄司 みどり 三浦 洋子 武石 久美子 金 伸明 庄司 栄子 佐藤 ヒサ子

○外部監査

依頼先：北林会計事務所(秋田市)

月 日	対象施設	監 査 内 容
7月12日(火) 8月17日(水)	もりよし荘	・平成27年度計算書類 ・小口現金の管理状況 ・利子源泉税非課税取扱い ・周辺会計の処理状況 ・取引記録検証 H27.4~H28.3 ・固定資産の現物管理状況 ・税務の適正な処理
7月13日(水) 8月19日(金)	もりの郷	・平成27年度計算書類 ・取引記録検証 H27.4~H28.3 ・小口現金の管理状況 ・切手の受払管理状況 ・利子源泉税非課税取扱い ・固定資産の現物管理状況 ・周辺会計の処理状況

○苦情解決

○苦情解決第3者委員（3名）

・原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子

任期：平成26年6月1日～平成28年5月31日（2年）

任期：平成28年6月1日～平成30年5月31日（2年）（再任）

【相談コーナー開催日】

回数	日時	内 容
第1回	7月23日(土)	森幸園（森の夕べ） 第3者委員～3名
第2回	7月29日(金)	もりよし荘（夕涼み） 第3者委員～3名
第3回	9月2日(金)	森泉荘（敬老式） 第3者委員～3名
第4回	10月1日(日)	もりの郷（10周年お祝いする会） 第3者委員～3名

※苦情解決担当者会議～平成29年3月10日(金)

（理事長、第3者委員3名、各施設苦情解決責任者及び苦情受付担当者14名）

【苦情等受付状況】

施設名	苦情・相談区分	申出者	内 容	解決状況	第3者委員への申出
森幸園	(無)				
もりよし荘	・相談	・本人	・家に帰って衣類等持ってきたい。	・外出支援で帰宅したらどうか。	・無
	・相談	・本人	・家に帰りたい。	・一度家に帰って外出支援を検討。	・無
	・相談	・本人	・自分の年金だけで利用料を支払っている。支払も心配だ。お寺で永代供養できるものか。	・息子さんが時間がたてば返ってくるかもしれないので、そんなに心配しないで自分の体調に注意して生活してほしい。 ・現在個室を利用しているので多床室について相談してみたらどうか。	・無
森泉荘	・相談	・本人	・鼻が悪く病気が心配。検査入院となればここを出ていかなければならない。	・以前見てもらったことがあり、異常なしといわれたが1日でティッシュ1箱近く使用。あまり気にしすぎでないか、心配しないで過ごしてください。施設のDr.と相談してもらったらどうか。	・無
	・相談	・家族	・日々の困りごとにおいて誰に話したらよいか分かるようにしてほしい。 (責任者リーダーなど	・施設に連絡し改善策を協議してもらおう。	・無

			<p>目印)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事後、施設側に引き継ぐとき、ホール内に係員がいない場合がある。(夕食後) ・食事時の準備物の不足(忘れ)がしばしば。 ・入所者の中で大声を出す人がいる。何とかならないか。 ・面会所での吸殻入れ(タバコのおい)の設置。 ・森泉荘への車の速度抑制を(せいぜい50km/h程度) 		
	・相談	・家族	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月に1回位来所、面会する。面会時職員かどなたかと話をする機会がないので、事前に連絡すると話ができるか?(色々聞きたいことがある。下着のこととか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に連絡し改善策を協議してもらう。 	・無
	・聞いてもらいたい	・家族	<ul style="list-style-type: none"> ・26年8月頃コスモス館で右股関節骨折して病院3ヶ月入院して退院して、切石の「輪」ショートステイに4ヶ月いるうちにいるんな病気が出てきて森泉荘に入所。息子さん2人亡くなり甥夫婦の世話になってここにいる。甥夫婦も面会に来て笑顔が見られるようになったと喜んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてもらいたかった。 	・無
もりの郷	(無)				

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
介護老人保健施設 もりよし荘

平成28年度 介護老人保健施設もりよし荘 事業報告

◎施設運営

老人保健施設としての機能を発揮しつつ、この地域、利用者ニーズに則した施設サービスの提供を目指した。地域交流行事である運動会、夕涼み会、地域福祉講座は毎年のものであるが、多くの地域の皆様の協力のもと盛大に開催することができた。サービスの多様化や利用者数減の中で施設運営は年々厳しさを増しているが、それでも、サービスの質や専門性の向上の取り組みの中で、職員一人ひとりが、それぞれの立場で考え、より良い施設造りに取り組んだ。特に施設職員としての態度、言葉使い、身だしなみについては今一度基本に立ち返り接遇マナーの向上に努め、お互いに注意しあえる環境作りにも配慮した。7月と8月に初めて外部の会計士による監査指導を受け、運営の透明性と財務規律の強化を図った。10月には県と北秋田市の実地指導を受け指摘された事項については改善を図りサービスの向上と法令遵守に努めた。処遇においては、11月末にインフルエンザが発生し、罹患者が利用者、職員で10名となり県と市に報告する事態となった。感染予防委員会が中心となり感染防止に努めそれ以上の罹患者はなく1週間ほどで終息している。管理面では高圧ケーブル他電気設備の法定耐用年数を経過したため、設備の更新工事を実施、送迎用ワゴン車1台についても年数の経過と走行距離を考慮し更新を行っている。

◎重点目標取り組み報告

・入所・短期入所

- ① 関係機関との密接な連携による地域包括ケアの推進
住み慣れた地域において、在宅生活が可能な限り継続出来るよう、北秋田市地域包括支援センター並びに各関係機関との連携を深め、老人保健施設としての機能発揮に努めた。在宅生活の支援から始まり、看取り期まで幅広い対応を求められる中で、研鑽を重ねながら地域包括ケアの推進を目指した。
- ② 関係法令の遵守による質の高いサービス提供
高齢者虐待、身体拘束、個人情報等の関係法令を遵守しサービス提供に努めた。特に、緊急やむを得ず身体拘束（説明、同意のもと）に至ったケースについては、定期的に会議を開催し身体拘束解除に努めた。
- ③ 接遇マナーの向上
毎年接遇マナーの向上に向け取り組み、幾分改善傾向も見られるも基本的な施設職員としての振る舞い、言葉使い、身だしなみ等常に初心を保ち続ける姿勢の大切さを感じている。来年度以降も重点目標の一つとして掲げ、さらに接遇マナーの向上に努めたい。
- ④ 各専門職によるチームケアの充実
カンファレンス（各専門職による協同会議を月・水・金曜日の午後から開催）においてそれぞれの専門的知見から定期的にサービス計画（ケアプラン）の見直しを行い、状態の維持・改善に繋がるよう努めた。また北秋田市ケアプラン点検事業による結果に基づき、記録の整備や指摘事項を改善した。

- ⑤ 他職種連携による生活能力の向上
日常生活能力の改善、向上を目指し、リハビリ専門職を中心に訓練の場だけでなく、日常生活の場面においても、それぞれ対応する職員の協力を得ながらサービス提供にあたった。多職種連携の意義を再確認し、ユニット内での情報の共有に努め、それぞれ個々の目標に対しきめ細かな対応を心掛けた。
- ⑥ 委員会活動を中心とした予防意識統一
感染予防、安全支援委員会を中心に職員が一丸となって、感染症及び事故防止に努めた。特に 11 月 29 日はインフルエンザが集団発生し、施設内感染レベル 3 としたマニュアル対応、予防も含めた同室者へのタミフル処方、面会規制、手洗いの徹底により利用者 7 名、職員 3 名の感染でそれ以上蔓延することなく終息できた。今年の反省もふまえさらに予防に努めていきたい。
- ⑦ 看取り体制の充実
施設で看取りを行ったケースは 7 名（昨年度 12 名）（内ターミナルケア加算算定 7 名（昨年度 11 名））であった。施設での看取りの中でグリーフケア（遺族の悲しみを癒すケア）等への取り組み等、職員も常に誠心誠意、真摯に対応した。また看取り介護について家族へアンケートを郵送し貴重な意見を頂き、今後の体制に生かした。
- ⑧ 利用率の向上
目標利用率 96% に対し 93.4% であった。上半期を 92.5% で折り返しており、下半期は短期入所の増加にて幾分改善に努めたが目標に届かなかった。29 年度は鷹巣地区に特養がオープンすることからも利用者確保がまた一段と厳しくなることが予想される為、相談から入所に至るまでの受け入れ体制を強化し対応していく必要がある。

・通所リハビリテーション

- ① 目標利用率 70% に対し 62.7% の実績であった。利用率の向上を目指したが、新規利用が伸び悩み、目標を割り込む結果となった。
- ② サービス計画を軸に在宅生活が継続出来るよう、状態の改善に努めた。担当者会議で、状態報告、ご家族の意向も尊重しながらサービス提供にあたった。
- ③ ご家族及び関係機関との関係性を大切にしながら、迅速、確実、誠実な情報提供を心掛け事業所としての信頼が得られるよう努めた。
- ④ 日頃から職員間で危機意識を保ち、予防策を講じるなどした結果、大きな事故、感染症もなく 1 年を経過することが出来た。

・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

- ① 1 人ケアマネ体制のため、事務所内との連携体制を図り業務にあたった。
- ② 研修や会議の機会を通じ、自己研鑽につとめた。
- ③ 各関係機関との連携を強化し、認知症対策、地域包括ケアの推進を図った。

事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 もりよし荘便り(かけはし)発行 5日 役職会議 8日 電気保安協会電気設備点検 12日 開設記念日(25回目) 15日 春のクリーンアップ 16日 厨房旧ガス管撤去作業 19日 県老健施設通常総会(秋田市) 21日 運営会議 22日 職員互助会(さくら会)総会	4日 理容の日 11日 美容の日 18日 理容の日 24日 ユニット誕生会 25日 美容の日 26日 通所春のドライブ開始 30日 米内沢小運動会前日祭(踊り披露)
5月	16日 職員健康診断(保健事業団) 19日 運営会議 23日 ワックスがけ～7/22日まで 24日 森中職場体験学習1年生4名～26日まで // 自動ドア保守点検 26日 安全運転管理者講習会	2日 理容の日 8日 米内沢祭典・神輿見学 9日 美容の日 16日 理容の日 23日 美容の日 25日 チャレンジデー 北政の杜歩行訓練 26日 比内支援学校高等部7名就労見学 // 比内支援学校中学部交流会13名 通所
6月	1日 消防設備点検 8日 灯油地下タンク点検 9日 暖冷切り替え作業 13日 自動ドア保守点検 16日 窓ガラス清掃(～17日) // 役職会議 // 運営会議 17日 外部講師研修「口腔ケア」鷹巣歯科クリニック 23日 総合避難訓練	1日 通所ドライブ終了(延べ28名参加) 6日 理容の日 11日 第9回もりりんピック 13日 美容の日 20日 理容の日 27日 美容の日
7月	8日 参議院選挙不在者投票(32名) // 業務用洗濯機・乾燥機保守点検 9日 浄化槽法定検査 12日 外部監査 16日 県北老健施設野球大会(大館市樹海ドーム) 21日 運営会議	4日 理容の日 11日 美容の日 18日 理容の日 25日 美容の日 29日 夕涼み会 柏木妙子ショー他 // 苦情解決相談コーナー
8月	17日 外部監査 18日 運営会議 21日 浴室大掃除 23日 献血車来荘 // 冷暖房用ボイラー煤煙測定	1日 理容の日 8日 美容の日 13日 米内沢共勇会獅子踊り 22日 美容の日 ※ お盆帰省利用者～外出7名、外泊12名
9月	4日 秋田県老健バレー大会 森吉体育館 9日 簡易専用水道検査(保健事業団) 15日 運営会議 16日 貯水槽・通所FF暖房器清掃点検 // 高圧ケーブル交換他交換工事 ～18日 18日 高圧ケーブル交換工事により日中停電 30日 自動ドア点検	5日 理容の日 7日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 8日 比内支援学校中学部交流会11名 通所 12日 美容の日 13日 利用者結核検診(直接・間接) 19日 理容の日 25日 100キロマラソン応援 26日 美容の日

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより(かけはし)発行 2日 介護支援専門員資格試験日(3名) 4日 レジオネラ水質検査(一般浴 特浴 ボイラー) 5日 空調冷暖切替 6日 地域福祉講座「脳卒中から身をまもろう」 12日 消防設備更新(消火器、標識交換他) 13日 介護用備品搬入(電動ベット、車椅子他) 14日 秋のクリーンアップ 20日 役職会議・運営会議・職員会議 25日 秋田県・北秋田市実地指導 31日 大型加湿器2台(冬期間レンタル)設置	1日 通所ドライブ開始(~11/16 延べ34名) 3日 理容の日 10日 美容の日 11日 うめユニットドライブ 17日 ふきユニットドライブ // 理容の日 21日 みずユニットドライブ 24日 美容の日 26日 比内支援学校作品展示コーナー設置(~11月4日) 27日 比内支援学校中学部交流会13名 通所
11月	7日 夜勤従事者健康診断 14日 職員インフルエンザ予防接種 15日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 17日 運営会議 18日 北秋田市福祉大会(永年勤続表彰対象4名) 28日 非常用照明装置法定点検	1日 森吉赤十字奉仕団交流会(12名) 7日 理容の日 // 結核健診精密検査5名 14日 美容の日 21日 理容の日 22日 インフルエンザ発生(感染レベル2対応) 24日 // (感染レベル3対応)
12月	2日 安全運転100日チャレンジ表彰 6日 消防設備点検 9日 精神保健北秋田支部総会 // 職員互助会忘年会 15日 運営会議 16日 消防署立入検査 18日 浴室清掃 19日 ワゴン車更新納車	5日 理容の日 6日 インフルエンザ終息(利用者7名 職員3名) 12日 感染レベル1対応 // 美容の日 19日 昭和ノスタルジアコンサート4名 22日 クリスマス会(各ユニット) 28日 餅つき大会 31日 大晦日 年越しそば ※ お正月外泊11名 外出2名
1月	4日 施設長年始訓示 16日 特殊浴槽点検・修理 19日 運営会議 // 自動ドア点検 30日 業務用大型洗濯機・乾燥機保守点検	2日 各ユニット新年会 9日 美容の日 16日 理容の日 23日 美容の日
2月	7日 給食施設巡回指導(北秋田保健所) 15日 北秋田市実地指導(通所リハビリ) 16日 運営会議 // エレベーター保守点検	3日 節分 各ユニット豆まき 6日 理容の日 13日 美容の日 20日 理容の日 27日 美容の日
3月	7日 県老健協議会理事会 16日 運営会議 17日 暖房用ボイラー煤煙測定 30日 職員会議 31日 職員互助会送別会	3日 ひな祭り 各ユニット 6日 理容の日 13日 美容の日 20日 理容の日 27日 美容の日 ※ 感染レベル1継続

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
障害者支援施設 森幸園

【事業・運営】

1、総括

今年度は、新たな地域行事として「夕涼み会・森の夕べ」の開催や家族交流行事の「一泊面会サービス」の事業を行うことが出来ました。どちらも好評を得ることができ、今後改善をしながら、継続できる事業として確立していきたい。

利用者支援については、高齢・重度化に加えて医療的な部分での対応が多くなり、市民病院内にある地域包括ケア病棟との連携が必要不可欠になって来ました。又それに伴い、家族との密な連絡調整も増えて来ています。

体制的には、職員不足が大きな課題となった年でもありました。ハローワーク募集や新聞折り込み、職員の知り合い等、各方面に呼びかけたが、数名の採用にとどまった。そんな職員不足の中、施設と職員に対して各方面から指導や指摘、アドバイスを受けました。そしてその事で多くの変更、改善事項が発生しています。特に、職員の仕事内容改善の指摘については、これまで築いてきた「利用者支援の在り方」についても、再検討しなければいけない状況になり、森幸園の過渡期となった一年でありました。

2、重点事項

(1) サービス提供体制の推進～

個々が抱える課題や適切なサービス利用に向けて、相談支援専門員を始め、サービス管理責任者、ケース担当者らが連携し、必要な情報を共有しながら作成、定期的に検証を行った。また、入院した場合や身体的機能が低下し、支援が難しい利用者には、速やかな計画変更見直しをすると共に医療機関と連携し個々にあった医療施設を紹介する事もできた。

(2) 利用者に適した生活支援の対応～

利用者の安心性・安全性を確保する意味でも、日常の行動や健康状態の把握。そして高齢化・重度化に伴う日常生活動作の低下防止、維持に努めた。また、高齢者食に対する意見交換を行い食形態(ペースト食・やわらか食)の考慮、栄養面・衛生面・嗜好面の把握に努め、高齢の利用者方にあった安全で美味しい食事提供に努めました。

(3) 日中活動の充実～

利用者の高齢化・虚弱化に伴い、その人に合った支援や無理のない活動に努めると共に、転倒による怪我等に至らないよう、安全面を重視した活動支援に努めた。又園周・近郊歩行の際は、熱中症や脱水状態を十分に考慮して、水分補給を行った。

生産活動に於いては、天候に恵まれ野菜や果樹、採卵鶏など概ね順調に推移した。比内地鶏も順調に生育し予想を上回る速さで完売することが出来た。又イベント販売にも積極的に参加し、販路拡大と工賃アップを目指した。

(4) リスクマネジメントへの取り組み～

定期的に危険予知訓練(KYT)を実施し、職員の危険回避能力と気付きの感性が高まるように取り組んだが、ヒヤリハットの件数提出が少なく、繰り返しの報告が挙げられた事から気付きや未然防止等を含め、実効性のある取り組みが求められた。又職員のストレスチェックを実施し、健康的な明るい支援が出来るよう職場環境の見直しや業務改善を図った。

(5) 職員の資質の向上～

施設内研修や勉強会への参加を進め、「痰吸引、強度行動障害、虐待・権利擁護」等の外部専門研修へ積極的に派遣すると共に、同法人施設へ職員を派遣し介護技術習得など利用者の高齢化・重度化を見据えた取り組みを進めた。又職員へのセルフチェックを実施し、不適切支援に対する意識改革を図った。

(6) 地域や家族との連携強化～

地域行事や交流会、奉仕活動等への参加。後援会活動、防災活動、消防団や地域自治会との協力を努め、より親睦を図ることができた。家族との連携については、家族総会で結束を図ると共に、夕涼み会や面会サービスへの協力など、新たな信頼関係の構築に努めた。しかし家族への連絡の遅れから不信感を抱かせる事態になり、改めて関わりの大切さを確認できた。

利用者支援

利用者の旅行計画では、高齢・重度化が進む中で、長距離移動や体調に考慮した調査を実施し20名の利用者から日帰り旅行の希望があった。寒い時期に実施したため、今後は、時期や旅行先など個々のニーズを取り入れながら小グループでの実施を考えていきます。また、家庭の事情などで一時帰宅ができない利用者を対象に、東京での面会サービスを実施し4名の利用者が家族と面会を果たした。次年度においても面会日数の延長や家族の負担を考慮しながら、家族との絆が途絶えないよう継続していく。

第三者評価受審結果や労働基準監督署からの指摘事項として労働時間内で業務が終われるよう日常業務の見直しや改善に向けて、話し合いが持たれ日課の流れや会議、勉強会などの対応について検討し業務改善が図られた。一方で利用者支援についてはサービスの低下を招く結果となった。

退所者3名、入所者2名の対応として、家族、病院や福祉事務所などと連携を図り、面接に向き、状況を把握し、ご家族の納得の下で入所に至った。利用者が施設生活に早く慣れて頂くような支援の工夫に努めている。

(1) 施設入所支援

ユニット毎に季節感のある装飾や行事などの写真を飾り、利用者が寛げる空間を工夫した。地域行事では事前に情報提供を行い希望を募り、公平に参加できるように努めた。

リスクマネジメントでは日々の支援の中で職員同士が気づきを大切に、些細な事でも情報共有する事で統一した支援に心がけ、ユニット毎にKYTの勉強会や避難訓練を定期的実施した。ADL全般については個々の課題を整理し機能の維持と低下防止に努め、個々のできる範囲が広まるような支援を考えながら、車椅子の点検や実際に乗車し目線や危険性を体感し、利用者の方が安全に暮らせるよう疑似体験も行った。

(2) 障害者福祉サービス（日中活動）

・生活介護

室内活動時には音楽を流しながらジグソーパズルなどの趣味的活動を行い、楽しく活動を行った。夏場は熱中症対策に努め体力や体調面に考慮し、休憩や水分補給を十分に授けてもらった。雨天時や冬季間は室内で歩行や器具を使つての機能訓練を行い、体力維持や機能向上に努めた。

屋外や作業活動では本人の能力や適性を十分に見極めながら、個々の作業能力向上や自信に繋がるよう支援しスキルアップを図った。

毎日の入浴後には、肌荒れや傷の確認や個々に合った洗髪や洗身を行い、自分で行うことが増やせるよう支援した。また、食事の際には食事形態を考慮し、むせ込みや誤嚥に配慮しトロミを付けて食事を提供した。

・就労継続支援B型

浴道にのぼりや宣伝の看板を設置した事で直接作業所へ来て購入する方が増え、比内地鶏は12月前半に完売となった。能代市いとくの特設会場でのイベントに参加し商品を宣伝する事ができた。椎茸の規模を1.5倍に拡大し利用者の工賃アップを図り意欲向上に努めたが、収益の増には繋がらず課題を残した。

事業概要

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	<p>1日 辞令交付・理事長訓示</p> <p>15日 やまね会総会(会員31名、法人1、職員8名)</p> <p>25日 森吉家族会総会(31家族38名職員15名)</p>	<p>10日 音楽クラブ(10名、もりの郷5名)</p> <p>16日 利用者自治会総会(66名、もりの郷8名)</p> <p>28日～5月3日 活動毎に観桜会</p>
5月	<p>16日 職員健康診断</p> <p>19日 法人監事監査</p> <p>24日 第1回勉強会「知的障害・利用者の薬について」(37名)</p> <p>30日 地域との防災会議 (消防署員1名・前田駐在所1名・地域5名)</p>	<p>8日 前田小学校運動会(16名)</p> <p>15日 さわやか街ボラ利用列車外出 (3名、ボランティア1名)</p> <p>16日 利用者健康診断</p> <p>18日 地域清掃奉仕(11名・桜堤公園)</p> <p>22日 さわやか街寿司バイキング(9名・ボラ1名)</p> <p>29日 アルミ缶収益地域還元(2名・桂坂自治会) ※ユニットでの避難訓練(5ユニット) ※一泊旅行2グループ(14名・岩手)</p>
6月	<p>4日 やまね会草刈りボランティア (後援会16名・職員19名)</p> <p>4日 園前の県道クリーンアップ(15名)</p> <p>17日 第1回北秋田まち美化活動(17名)</p> <p>19日 阿仁前田駅前祭典(担ぎ手職員3名)</p> <p>21日 総合避難訓練(やまね会・自治会4名)</p> <p>28日 職員全体会議(40名)</p> <p>28日 第2回勉強会「ストレスチェック制度」(42名)</p>	<p>7日 阿仁前田保育園児サツマ芋植え交流(17名)</p> <p>12日 音楽クラブ</p> <p>15日 県北球技大会(19名・大館樹海ドーム)</p> <p>20日 地域草取り奉仕(8名・神成地区交流センター)</p> <p>21日 総合避難訓練</p> <p>25日 東地区ボラ利用外出(4名・ボラ2名) ※ユニットでの避難訓練(4ユニット) ※一泊旅行2グループ(19名・岩手、青森)</p>
7月	<p>8日 第三者評価に伴う経営層合議(職員17名)</p> <p>16日 やまね会草刈りボランティア (後援会16名・職員13名・他1名)</p> <p>21日 第2回北秋田まち美化活動(職員18名)</p> <p>23日 夕涼み会「森の夕べ」(総数350名) (家族48名・役員後援会34名・ボラ16名 前田小学校34名・出演者11名・通所2名 もりの郷17名・もりの郷GH9名ほか)</p> <p>28日 第三者評価訪問 (利用者聞き取り、職員説明会)</p> <p>29日 第3回勉強会「レクリエーション」(24名)</p>	<p>9～10日 さわやか街一泊キャンプ(6名・妖精の森)</p> <p>10日 参議院選挙(12名)</p> <p>11日 利用者自治会プランター苗植え(14名)</p> <p>13日 県北レクリエーション大会(18名・大館樹海ドーム)</p> <p>23日 夕涼み「森の夕べ」(69名)</p> <p>26日 地域清掃活動(8名・前田駅前自治会館前)</p> <p>27日 土砂災害避難訓練(四季美館へ) ※ユニットでの避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行1グループ(11名・岩手)</p>
8月	<p>8日 やまね会草刈りボランティア (後援会12名・ボラ1名・職員16名)</p> <p>11日 一時帰宅(東京方面15名・県内3名)</p> <p>24日 夜間想定避難訓練(後援会1名) 集合訓練(職員32名)</p> <p>25～26日 東社協施設体験研修受入 (ひばり野園職員1名)</p> <p>26日 第4回勉強会「口腔ケア・記録」(29名)</p>	<p>7日 七夕火祭り(8名・阿仁前田河川敷)</p> <p>8日 地域清掃奉仕(8名・前田駅前自治館前)</p> <p>11日 残園者日帰り旅行(35名・本体)</p> <p>12日 残園者日帰り旅行(15名・東地区)</p> <p>20日 思いやり自治会バーベキュー(37名)</p> <p>21日 さわやか街夏祭り(9名・ボラ2名)</p> <p>24日 夜間想定避難訓練 ※ユニットでの避難訓練(3名ユニット) ※一泊旅行1グループ(6名・青森)</p>
9月	<p>5日 入所者面接(東京・面接職員3名)</p> <p>6日 比内支援学校PTA施設見学(20名)</p> <p>8日 第三者評価による訪問調査(2名)</p> <p>13日 スプリンクラー現場視察(東京都1名)</p> <p>14日 保健所給食巡視訪問(2名)</p> <p>21日 第3回北秋田まち美化活動(21名)</p> <p>23日 第5回勉強会「高齢者食・経営栄養」(32名)</p> <p>24日 やまね会草刈りボランティア (後援会12名・職員11名)</p> <p>30日 無断外出捜索訓練</p>	<p>4日 魚座ライブ(20名・旧浦田小学校)</p> <p>8日 敬老式(2名・森吉スポーツセンター)</p> <p>10日 さわやか街ボラ買物外出(2名ボラ1名)</p> <p>18日 神成祭典(9名)</p> <p>26日 交通安全キャンペーン(7名・駐在所前)</p> <p>※一泊旅行2グループ(17名・岩手、青森)</p>

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	12日 県指導監査(監査員4名) 21日 全体職員会議(職員42名) 21日 園内研修会(職員44名) 23日 大館社会福祉協議会ボランティア協会 施設見学(21名) 28日 BCP訓練(職員15名)	4日 ナイスハート交流会(4名・秋田市) 9日 東地区秋祭り(21名、職員6名、ボラ7名) 12日 日帰り旅行(10名・青森方面) 14日 前田保育園児芋掘り交流 (利用者12名、園児21名、先生5名) 16日 前田小学校学習発表会(7名) 17日 神成婦人部だまっこ交流会(9名) 22日 交通安全教室(49名) 22日 生産品販売(3名、職員2名、能代いとく) 25日 面会サービス(森幸園2名、もりの郷2名)
11月	6日 神成地区防災訓練(地域60名、消防署・ 消防団36名、職員5名) 7日 健康診断(夜勤者) 9日 秋田県東京都委託連絡協議会(職員4名) 10日 あきる野市・北秋田市報告書確認調査 11日 森幸園研修会(四季美館) (外部講師研修:保健所3名、職員23名 法人10名、後援会6名、利用者6名) (研修発表会:職員34名、地域1名) 15日 第三者評価最終報告会 (本部事務長、職員14名) 17日 ねむの木苑施設見学来園(家族11名) 27日 地域合同避難訓練、 東地区夜間想定避難訓練、防災会議	1日 日帰り旅行(9名・能代方面) 7日 健康診断 12日 さわやか街ボランティア買物外出 (利用者2名、職員1名、ボランティア1名) 15日 清掃ボランティア(利用者10名、職員3名) 20日 東地区鍋昼食会 26日 東地区ボランティア買物外出 (利用者4名、職員2名、ボランティア2名)
12月	9日 インフルエンザ予防接種(職員49名) 14・15日 介護技術研修(職員2名、森泉荘へ) 19日 大館労働基準監督署訪問調査 (調査員1名) 22日 第6回勉強会「防犯対策」 (講師:前田駐在所木村さん、職員21名)	4日 あすやま鍋昼食会 9日 インフルエンザ予防接種(67名) 9日 秋田県福祉協会共同募金(1名) 10日 生活支援センターXmas会(利6名、職2名) 18日 利用者自治会Xmas会(利84名、ボラ4名) 29日 冬季一時帰宅(東京10名、県内2名) 29日 本体残園者旅行(森吉山荘、打当温泉) 30日 東地区残園者旅行(17名・大館)
1月	16・17日 入所者面接(江戸川区、昭島市) 20日 やまね会新年会 (後援会30名、職員5名、事務局2名) 27日 第7回勉強会「虐待防止、不適切支援への 指摘」(職員20名) 31日 職員労働実態調査報告書提出	21日 除雪ボランティア (利用者3名、職員2名、職員ボラ7名) 21日 さわやか街新年会 (利用者1名、職員2名、ボランティア1名)
2月	18日 救命救急講習(消防署1名、後援会2名 森幸園5名、もりよし荘5名、もりの郷3名) 24日 第8回勉強会「ヒヤリハット報告会」(21名)	5日 あげぼの街鍋昼食会 12日 音楽クラブ(利用者16名、ささえ職員1名) 25日 除雪ボランティア (利用者2名、職員2名、ボラ職員6名) ※各ユニット毎に地域外出を実施
3月	13日 地域企業説明会(職員1名) 15日 職員全体会議 園内研修発表会(職員30名)	4日 さわやか街ボランティア外出 (利用者2名、職員1名、ボランティア1名) 6日 前田小学校ベルマーク寄贈 10日 就労支援B型慰労会 12日 音楽クラブ ※各ユニット毎に地域外出を実施

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
特別養護老人ホーム 森泉荘

総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者のサービスの向上に努めてまいりました。日々変化する利用者

の対応は個別のケアが求められており、職員個々の実践技術の向上とチームワークの取れた対応が求められております。このことから、毎日の生活が活気あるものとするため、余暇活動を積極的に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めております。

施設運営関係では、施設の基本介護報酬の引き下げが実施されており、併せて介護職員の処遇改善が求められるなど、高齢者福祉の取り巻く環境もますます厳しくなっておりますが、施設管理の見直し、コスト意識の醸成など、創意工夫の上適正な運営管理に努めております。厚生労働省の助成金を活用し、特殊浴槽の更新により介護職員の現場環境の改善を行いました。

2月インフルエンザA型集団発生により利用者18名、職員12名また風邪症状のある出勤停止職員11名となり北秋田保健所の指導のもと対応にあたりましたが、終息まで1か月ほどかかりました。

施設事業関係では、恒例行事として敬老式を9月に開催、たくさんの来賓をお迎えし盛会裏に終えております。また、森吉山麓たなばた火まつりの見学、施設駐車場広場を開放して阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会の開催、新年会では根森田地区婦人会七福神の「福をもたらす舞」の披露など、地区の一員として地元地域事業に協力しております。

地域交流関係については、これまで懸案であった地域交流推進事業として「観桜会・環境整備事業・もちつき会」の3事業を実施しております。観桜会は、地元下前田自治会の参加により、利用者との交流を深めております。

また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」を開催し、介護に関連したさまざまな情報を提供することができました。

(利用者の実績)

	(入所率%)	
	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	96.4	97.4
短期利用者	101.3	96.8
全体	97.4	97.3

重点目標

1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者支援（介護）を大切にするため「いつも笑顔で元気よく」をモットーに職員と職員、そして職員と利用者の間

に信頼意識が生まれる環境づくり、職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めました。

2. 実践を主体とした介護

利用者の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、個別ケア実践のため外部研修への参加や施設内研修の開催など、職員の資質及び介護技術の向上に努めました。

また、利用者のニーズに沿った余暇活動を実施し、心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めました。

3. 衛生管理の徹底

利用者が快適に生活できるための環境づくりを行い、おだやかに落ち着いて毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めました。

4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者には、適切な対応を心がけました。

感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように努めました。インフルエンザの集団発生があり今後は今まで以上に対応策の徹底に努めます。また、利用者一人ひとりの身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者の尊厳を尊重し、寄り添い思いやる看護に努めました。

5. 栄養管理と食環境の保全

食事は利用者の重要な楽しみのひとつです。常に食材等の栄養・品質管理に努め、個々の嚥下状態に応じた食事の提供、選択食や行事食も随時取り入れるなど、食事に対する意欲を引き出すよう努めました。また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めました。

6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力を得られるよう訓練に参加していただきました。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めました。

7. ご家族・地域とともにある施設

利用者と家族、そして地域住民との繋がりを大切にし、親しまれる施設となるように、地域交流推進事業の開催や福祉ボランティア・介護実習生の受け入れ等を積極的に取り組みました。また、「介護教室」を開催するなど、地域に開かれた施設となるよう努めました。

事業報告

	管理運営関係	利用者関係
4	1日 辞令交付・理事長訓示 開設記念日 7日 運営会議 11日 職員会議・支援課会議	4日 誕生会 11日 理容日 24日 カンファレンス 23日 地域交流観桜会(下前田自治会)
5	17日 運営会議 18日 前期入所調整委員会 24日 職員会議・支援課会議 25日 職員健康診断	2日 フラワーアレンジメント 5日 端午の節句 9日 理容日 12日 誕生会 22日 カンファレンス
6	14日 運営会議 21日 職員会議・支援課会議	2日 誕生会 13日 理容日 23日 前期避難訓練(総合) 26日 カンファレンス
7	3日 地域交流(下前田自治会道払い作業) 19日 運営会議 26日 職員会議・支援課会議	5日 誕生会 6日 参院選不在者投票 11日 理容日 15日 フルーツパイキング 17日 カンファレンス 24日 カンファレンス 29日 スイカ割
8	19日 運営会議 23日 職員会議・支援課会議	1日 結核検診 4日 誕生会 7日 森吉山麓七夕火まつり見学 8日 理容日 15日 阿仁前田獅子踊り見学 21日 カンファレンス 22日 お盆供養
9	14日 特殊浴槽更新 15日 " 14日 運営会議 23日 職員会議・支援課会議	2日 敬老式 8日 誕生会 12日 理容日 18日 カンファレンス 25日 カンファレンス

	管理運営関係	利用者関係
10	12日 中期入所委員会 20日 運営会議 27日 職員会議・支援課会議	3日 誕生会 4日 齊藤ハルエ 内閣総理大臣 100歳祝い贈呈式 10日 理容日 12日 後期避難訓練 18日 水月聖観音供養 23日 カンファレンス 27日 だまっこ会
11	9日 施設内研修(腰痛予防対策～外部講師) 11日 運営会議 18日 夜勤者健康診断 21日 介護教室(対象:ポランディア) 22日 職員会議、支援課会議 22・29日 インフルエンザ予防接種	7日 誕生会 14日 理容日 17日 鍋の日(きりたんぼ) 24日 喫茶いずみ 27日 カンファレンス
12	19日 運営会議 26日 職員会議、支援課会議	1日 誕生会 12日 理容日 18日 焼きハタハタの日 22日 年忘れクリスマス会 23日 インフルエンザ予防接種 25日 カンファレンス 28日 地域交流餅つき会
1	13日 運営会議 // 介護教室(対象:前田婦人部・下前田婦人会) 24日 職員会議、支援課会議	5日 新年会&宝引大会(根森田七福神) 9日 理容日 12日 誕生会 19日 鍋の日 15日 カンファレンス 22日 カンファレンス
2	27日 職員会議、支援課会議	3日 節分 12日 カンファレンス 26日 カンファレンス ※インフルエンザA型集団発生 2/4～2/20
3	9日 運営会議 14日 施設内研修「虐待防止」 16日 職員会議、支援課会議 19日 施設内研修「虐待防止」 22日 施設内研修「防災について」 24日 施設内研修「事故防止」	3日 ひな祭り 9日 誕生会 13日 理容日 19日 カンファレンス 26日 カンファレンス

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
複合ケアセンター もりの郷

◎総括

グループホーム・ディサービスは目標の利用率を達成できた。特に通所介護に於いて目標を達成できたのは初めてであり、居宅支援事業所との連携、地域との交流を多く取り入れ信頼関係を築いてきた結果と思われる。

サポートホームでは、利用者の骨折入院により利用率を多少下げたが目標は達成できた。

利用者の高齢化に伴う疾病・事故等による利用率の低下を招かぬように、利用者の状態を把握して、早期発見に心掛けていきたい。また、重度化に伴う支援方法を検討して行く必要がある。

グループホームの人員不足が続いたが、各事業所から適時サポート職員を配置し、サービスの質が低下しないよう配慮してきた。今後人員不足の解消を図り、働きやすい職場作りを目指していきたい。

◎重点取り組み報告

1 事業運営

(1) であいの家建て替え

7月28日完成、家族会より、冷蔵庫・ダイニングテーブル・ソファを寄贈して頂き、8月12・16日引っ越し、一時帰宅後に生活をしている。以前より広く明るくなり、暮らしやすい造りで利用者の方も喜んでいて、9月9日には新屋布自治会館にて竣工祝いを行い、地域の方々共に祝った。

(2) 地域密着型事業への移行

グループホームもりの郷地域運営推進委員に通所介護利用者家族1名を構成委員に加え年2回地域運営推進会議を実施して、通所介護の必要性や地域との交流の在り方、ニーズの把握などに努めてきた。今後、より身近な存在として地域貢献を図っていきたい。

2 地域サロンの取り組み

地域サロンの役割として、グループホームもりの家ではお茶会を週1回・もりの郷では月1回実施した。お菓子などを一緒に作り、レク体操・ゲームなど行い交流を図りながら、地域のニーズを伺い福祉講座に生かしている。「防災につて」は消防署より講師を招き実施、その他に「認知症サポーター養成講座」「重度介護者の介護技術講習」「介護保険制度講習」など地域の要望に応え行ってきた。「介護保険制度講習」の質疑では、認定の受け方、サービス利用のしかたなど知っていると思っっている事でも、まったく知らない方が多かったので、今後福祉サービスの窓口としての役割を果たせるよう努めていきたい。

3 利用目標達成のための取り組み

宿泊サービス利用は多くはないが、居宅ケアマネージャーや家族に好評で、急な事があっても安心できる場所として認識された。居宅事業所との連携を密に取ることにより契約利用者が増え、地域との関わりや家族との信頼関係を得る事により、ディサービスの利用率の目標が達成できた。

4 障害者差別解消法への取り組み

11月に障害者職場実習(DS)で、12月には鷹巣技術専門校委託訓練開校式(GH家)を行い就労に向けた訓練実習を開始した。職員の戸惑いもみられたが、2名共に就労に繋がって業務に就いている。

5 メンタルヘルスへの取り組み

今年度も、心身状態による療養者がありメンタルヘルスの難しさを実感している。ストレスチェックにより、高ストレスを抱えている職員のケアを考え、離職に繋がらないように、お互いに話しやすい職場環境を整えられるように努めていきたい。

◎事業実績 (%)

事業所名	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績	前年度実績
GH もりの郷	98.0	98.7	96.8
もりの家(さくら)	98.0	98.5	97.1
もりの家(コスモ)	98.0	97.8	98.7
ディサービス	85.0	86.3	79.1
サポートホーム	98.0	97.9	98.1

○各事業所活動報告

1. グループホームもりの郷

利用者間のトラブルが多く、ヒヤリから事故に至る事が度々あった。その都度職員間で対応を検討したが改善傾向に至らず、この状態が続くようであれば、利用者の家族と話し合い、他施設利用も検討しなければならない状態であった。また、利用者全体的には、活動性の低下が観られレクリエーション及びリハビリ等検討しサービス計画に反映して行きたい。

地域交流としては、7月よりお茶っこ会を月1回行い、利用者の方と交流しながら楽しまれている。また、合同昼食会の時などは婦人部の方々がきりたんぼ作りを手伝われ、また、訪問等が来た時には、地域の方々に声をかけると気軽に観にこられた。

今後も気軽に立ち寄る事ができる関係を築いて行きたい。

2. グループホームもりの家(さくら館)

利用者支援に於いては、1日に何回か外出し、駅まで行かれる方が施設周辺の散歩で自ら帰られるようになり、表情も穏やかになられる事により、比較的落ち着いて生活支援が出来るようになった。職員間で対応を検討して支援の統一を図った事が良い方向に向かったようである。地域交流に於いては、定例となっている行事の他に、お茶会を通しての地域との合同観桜会、駅前自治会館での「介護技術講習」「介護保険制度について」開催ができ、今後地域サロンとして、気軽に立ち寄り相談などもできる場所として努力して行きたい。市実地指導によりサービス計画を作成する際に、家族及び本人が出席できるようにする事、また利用者の課題分析が不十分なため、課題整理表などを活用して利用者のニーズを明確にする事など口頭指導を受け、来年度は改善できるようにする。

3. グループホームもりの家(コスモス館)

今年度は、利用者に寄り添い、状態を把握しながら、出来る事の気付きを大切にしたい支援に努める事が出来た。急変時の対応も職員間で連携し迅速に対処した。

外出に関しては、四季を感じて頂けるように計画、実施した。また、個別外出では利用者とは担当職員が話し合い、出来る限り本人の要望を取り入れ計画実施する事が出来た。

地域交流では、米内沢小学校学習発表会や駅前子供会との交流会、駅前祭典など定着しており、今後も継続して行きたい。

お茶会ではお菓子などを地域の方々と共に作り交流を深める事が出来た。また、個々の状態に合わせて3グループに分かれて、縫い物やちぎり絵、塗り絵等行い地域の方々も一緒に行って頂く事により利用者の方々と、より交流を深める事が出来た。

4. デイサービス

今年度のデイサービス利用率は 86.3% (地域密着型 76.8%、居宅介護 (要支援) 9.5%) であり、当初の利用率目標である 85% を達成する事が出来た。ショートステイ等の利用などで、下半期は毎年利用率の低下が懸念されていたが、今年度は安定した利用率を保持する事が出来、新規利用者は 9 名、利用終了者は 5 名となっている。関係機関との連携を深めつつ、利用者の確保や利用率の向上につなげる事が出来た事はとても良かった。また、お泊まりデイサービスの利用においても 4 回利用があり、スムーズに対応する事が出来ている。

地域交流においては上半期より下半期の方が外出する頻度が減ったが、施設内で行われているお茶っこ会等を通して地域の方々に足を運んでいただく機会が増えた。また、引き続き公民館へ足を運びつつ壁紙を飾っていただいたり、保育園や小学校の行事等にも参加させていただきながら、利用者の方と子供達との世代間交流をする事が出来た。

来年度においても積極的な地域交流や社会参加を経て利用者の方と地域の絆を大切に、住み慣れた地域で少しでも長く過ごせるようにデイサービスとしての役割を果たしていきたい。

5. サポートホーム

(1) もりの郷

利用者個々の精神面の支援に心がけ、他の利用者とのトラブルが無いように見守りや会話を多く持ち、不満など解消してきた。些細なことで不穏になることもあったが、直ぐに職員が間に入り話し合いを持つことで情緒の安定を図ってきた。

高齢化に伴う歩行不安定な利用者の転倒事故が数件あったが、幸い怪我もなく大事に至らず、昨年度より件数も少なくなった。また、白内障と診断された利用者の日帰り手術など本人や家族と相談し連絡を密にして実施した。

余暇日には、近くのコンビニや理容外出など、個々のニーズに合わせて、職員付き添いにて徒歩で行ったり、歩行不安定な利用者は、車で送迎したりして、気分転換を図れるように支援してきた。

(2) であいの家、陣場岱ハイツ

であいの家は、7 月末に新しい『であいの家』が完成し、8 月 12 日より生活を始めた。最初は、自室やトイレの場所に慣れなく戸惑うこともあったが、一週間ほどすると慣れてきて、落ち着いて生活ができた。9 月には、地域の方々を招いて『であいの家竣工祝い』を実施した。

生活面では、利用者間のトラブルは殆どなかった。健康面では、体調不良を訴えることもあり、その都度、受診などで対応してきた。また、肥満対策として体重の管理を行い、献立を作成する際は、カロリーを控えた食事メニューやおやつ等に気を付けて体重の減少に努めてきた。

地域交流では、6 月の新屋布祭典で模擬店を出し、地域の方々と一緒に踊りやカラオケを楽しんで交流を図った。

3 月に活動先で転倒事故により、左膝蓋骨骨折した利用者の手術をした。一週間ほどの入院であったが、家族と連絡を密にして無事手術を終えることができ、退院後は、普段と変わりなく過ごすことができている。

陣場岱ハイツは、夜間の保安 (18 時 30 分～20 時 30 分) を継続して行い、職員やパートを配置することで利用者が安心して生活が出来てトラブルや物損事故が殆どなくなり落ち着いて生活している。また、外出なども話し合いにて計画を立てて行いトラブルもなく、仲良く実施することができた。神成地区祭典では、模擬店を出して利用者と一緒に地域の方々と交流を図った。地域奉仕活動 (春のクリーンアップ) は、利用者が協力して積極的に取り組み、意欲が感じられるようになってきた。今後も地域の方々や家族との連絡を密にして、安心して地域での生活が送れるように支援していきたい。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	13日/14日 エステボランティア(郷・家) 14日 運営会議 24日 SH家族総会(5家族 6人参加)	14日～16日 クリーンアップ実施(DS・GH・SH) 16日 利用者自治会(SH) 18日～30日 各事業観桜会(大瀧村・中央公園等) 21日 長寿者への祝状等の贈呈式
5月	17日 第1回施設内研修 「介護技術 基礎編」参加16名 18日/26日 地域運営推進会議 20日 運営会議 25日 震災想定総合訓練(GH家)	4日 もりの家合同観桜会(地域方9人) 8日 SH合同外出(能代エナジウムパーク) 23日 GH郷ツツジ見学(能代公園) 29日 SHグループ外出
6月	7日 前田駅前祭典実行委員会打ち合わせ 9日 消防署森吉分署立入り検査(もりの郷) 17日 運営会議 21日 第2回施設内研修(講師:森泉荘栄養士) 「食中毒について 食品管理」 23日 職員健康診断 29日 虹色パレット慰問(郷)	4日 SHカラオケ大会 11日 もりよし荘もりりんピック参加(31人) 12日 新屋布祭典参加(SH参加10人地区を回って踊りを披露・自治会館前に模擬店を出店) 13日/14日 GHコスモス外出(バラ園・八森方面) 15日 SH県北地区球技大会(大館樹海ドーム) 12日 サツキ展見学(GH郷・DS) 19日 前田駅前祭典(神輿・民謡・踊り見学) (模擬店出店・演芸観賞) 23日/24日 北欧の杜ピクニック(さくら・コスモス館)
7月	10日/22日 無届外出捜索訓練(GH郷・家) 13日 北林会計事務所外部監査 SH県北レクリエーション大会 [会場:大館樹海ドーム、参加4人] 13日/26日 地域運営推進会議 14日 運営会議 26日 第3回施設内研修(外部講師) 「救急救命・AEDの使い方」 27日 秋田労働局訪問	3日 SHデイキャンプ(妖精の森キャンプ場) 4日 もりの家外出(さくら館 鹿角市方面) 9日/10日 SHグループ外出 16日 もりの郷合同昼食会(郷・家・SH・DS) 22日 DSたんぼアート見学(~30日) 23日 森の夕べ(SH17人 GH郷9人) 29日 GH郷ピクニック(北欧の杜)
8月	2日～4日 森吉中学校職場体験学習(2人) 2日 GH利用者結核検診 6日/7日 SHであいの家内覧会 12日/16日 SHであいの家引っ越し 18日 運営会議 19日 北林会計事務所外部監査 28日 GH家水害想定避難訓練	1日/17日 たんぼアート見学(GH家) 6日 ねぶ流し交流会(GH家・SH) 7日 郷火祭り交流会(駐車場にて模擬店) 火祭り見学(郷19人・GH家7人) 9日 もりの郷お茶っこ会(毎月第2火曜開催) 10日 DSお楽しみ昼食会 11日～17日 SH夏季一時帰宅(東京7人・県内3人) 13日 DS海岸ドライブ(八森方面) 15日 GH郷獅子踊り見学(森泉荘、参加8人) SH残郷者日帰り旅行(五城目方面) 20日 SHおもいやり自治会バーベキュー 22日 家コスモス館たんぼアート見学(田舎館)
9月	7日 GH家地域推進運営会議 9日 運営会議 15日 GH郷・DS地域運営推進会議 20日～28日 旧であいの家解体工事 第4回施設内研修 「感染症に関して」(参加17人) 21日 認知症サポーター養成講座 (向本庄自治会館 参加 17人)	3日 DS前田保育園運動会見学 6日 GH家たんぼアート見学(さくら館) 8日 森吉地区敬老式(GH郷・家 11名) 11日 米内沢駅前祭典(GHもりの家) 18日 神成祭典参加(SH郷) 20日/30日 敬老を祝う会(GH家・GH郷) 24日 DS外食ドライブ 27日 GH郷相模原人形劇観劇(前田公民館) 30日 小又婦人部きりたんぼ作りボランティア

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	1日 3GH家族総会・郷10周年を祝う会 苦情受付相談コーナー設置 4日～24日 深夜想定避難訓練(郷・家・SH) 6日 SHハイツ消防署査察 20日 第5回施設内研修(参加 11人) 「介護技術」 21日 運営会議 22日/29日 GH外部評価訪問調査 31日 障害者雇用職場実習(～4日 DS)	2日/16日 GH・SH郷クリーンアップ 12日/24日 ワックス外出(GH郷・家・DS) (森吉山荘・天王グリーンランド・打当) 16日 GH家米内沢小学校学習発表会見学 17日/24 季節ドライブ(大館方面) 20日 GH家駅前老人クラブ交流会(地域11人) 23日 SH合同外出(角館方面) 30日 SHグループ外出
11月	7日 職員・SH利用者健康診断 障害者雇用職場実習(～11日/DS) 14日 障害者雇用職場実習(～18日/GH家) 19日 もりの郷開設10周年記念式典祝賀会 (招待出席/34人 職員/19人) 21日 第6回施設内研修(参加14人) 「障害者虐待防止について」 22日 障害者委託訓練 (実践能力習得訓練打ち合わせ) 28日 介護サービス情報の公表訪問調査 (GH郷・DS) 29日/30日 GH地域運営推進会議(郷・家)	2日 GH家さくら館外出(打当温泉/8人) 9日 もりの郷だまこ交流会 (前田駅前老人クラブ/10人) 10日 DS買物外出(鷹巣方面) 11日 DS手作り昼食会 GH家個別外出(コスモス館・大太鼓の里) 14日 GH郷誕生会(アグリハウス) 15日 オードブル夕食会(GH郷・SH郷) 20日 SHハイツ誕生日外出(大館方面) SHであいグループ外出(縄文の湯) 26日 SHカラオケ大会(12人) 27日 SH誕生日外出(潟上市方面)
12月	7日 鷹巣技術専門校委託訓練開校式 前田小学校職場体験(5・6年生 3人) 9日 SH利用者インフルエンザ予防接種 9日/12日 GH家・郷緊急連絡伝達訓練 15日 GH家消防署立入検査 20日 第7回施設内研修(参加11人) 「防災について」 29日 SH冬季一時帰宅 (東京方面8人 県内3人)	4日 SH郷個別外出(2人大館方面) 11日 SH郷誕生日外出(縄文の湯) 16日 DS買物外出(鷹巣方面) 17日 グループ外出(カラオケ・五城目方面) 24日/25日 各事業所クリスマス会 28日 GH餅つき交流会 (前田駅前老人クラブ/6人・米内沢駅前自治会/3人)
1月	10日 虹色パレット訪問(GH家、GH郷) 18日/30日 GH炊き出し訓練 18日/24日 地域運営推進会議 21日 介護技術講習会開催 (米内沢駅前女性の会/17人参加) 27日 第8回施設内研修(参加 18人) 「腰痛予防について」外部講師	6日～9日 各事業所新年を祝う会 8日 SH郷個別外出(四季美館) 15日 SHグループ外出(大館方面) 21日/23日 DS手作りおやつ 24日 GH郷鍋昼食会 29日 SHカラオケ大会(参加12人)
2月	8日 合同地域運営推進会議(3GH DS) 14日 オカリナ ドナーチェ慰问 21日 第9回施設内研修(参加 18人) 「事故防止について」 23日 運営会議 28日 GH家北秋田市実地指導	1日 SH郷合同歳祝い(参加1人) 2日 GH郷誕生会 3日 各事業所節分行事 11日 DS物外出、SH個別外出(大館方面) 26日 SH誕生日外出(大館方面)
3月	17日 運営会議	3日 各事業所ひな祭り行事 4日/8日 SH・GH 個別外出(鷹巣方面) 11日 全事業所合同昼食会 12日 SHであいグループ外出(大館方面) 26日 前田保育園卒園を祝う会 18日/25日 SHご苦労さん会 27日 GH郷外食・個別外出(アグリハウス)